

クラスター	生体機能系クラスター		
授業科目名	免疫・アレルギー学		
担当者名	責任者	植木 重治	分担者
単位数	1単位(選択)		配当年次
授業形態	講義	実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標			
授業の目的:免疫・アレルギー・炎症疾患に関連する臨床的課題に対して, 分子学的な知見を踏まえてバイオマーカーを開発するための方法論について理解することを目的とする。			
授業の到達目標:上記を理解し, 説明できることを目標とする。			
授業の概要: 1. 研究の準備 実際には研究をはじめる際のtipsについて概説する。 2. 免疫・アレルギー学総論, 細胞活化分子機構:臨床研究に関連した免疫学, 炎症学について, 実際の症例・研究成績を学ぶ。 3. 免疫・アレルギー疾患におけるバイオマーカーの探求:自己免疫性疾患やアレルギー疾患の診断や重症度判定に有効なバイオマーカーについて, 実際の症例・研究成果を踏まえて理解する。 講義を通じて, 疾患に対して有効なバイオマーカーを学び, その重要性について理解する。			
授業計画			
	講義 (講義 題目 内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	研究活動ことはじめ:tips	植木 重治	総合診療・検査診断学 〔講座医局またはWeb〕
2			
3	アレルギー反応の基礎を理解する	植木 重治	
4			
5	炎症の成り立ちを理解する	植木 重治	
6			
7	バイオマーカー開発の実際を理解する	植木 重治	
8			
9	まとめ	植木 重治	
授業形態および成績の評価方法・基準			
研究室での講義30時間＋自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
植木 重治, shigeh@hos.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
履修に関する情報:炎症・免疫学系クラスター「免疫・アレルギー学」との共通科目。 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			